

1 ③ 国家賠償法上、外国人は、「相互の保証があるとき」(6条)、すなわち、その者の本国において日本国民が国家賠償請求をすることができる法制度になっている場合であれば、国家賠償請求権を行使することができる。

2 ① 即時強制とは、相手方に対する義務の賦課とその不履行を前提とせずに、行政機関が直ちに国民の身体や財産に実力を加えて、行政上必要な状態を作出する作用をいう。具体例としては、枝文記載の警職法3条に基づく保護措置などがある。

3 ② 中止未遂についても、着手未遂の場合と実行未遂の場合とがあり、前者の場合には実行行為そのものを中止すれば足りるが、後者の場合には結果の発生が防止されることまでを要する。したがって、いかに結果発生防止に努力したとしても、結果が発生すれば、中止未遂は成立しない。

4 ⑤ 検証と実況見分は、前者が強制処分であり、後者が任意処分であるという点だけが異なっており、実質的に同一である。また、両者はいずれも客観的・技術的性質を有しており、虚偽を作出する余地が少ない。判例も、実況見分調書に刑法321条3項の適用を認めている(最判昭35.9.8等)。

5 ④ 業務上必要な指示や注意・指導を不満に感じる場合であっても、それらが業務の適正な範囲内で行われている場合には、パワハラに当たらない。したがって、業務の適正な範囲を明確にする取組を行うことにより、上司による適正な指導等を組織としてサポートする必要がある。

6 ④ 調理師は包丁を使用して調理することが仕事であるから、包丁を携帯することは「業務」に該当し、刃物の携帯違反は成立しないのが一般的であるが、仕事とは何ら関係のないダガーナイフ等の刃物を携帯することは、もはや「業務」に該当せず、刃物の携帯違反が成立する。

7 ② 「所持」とは、人が物を保管する実力支配関係を内容とする行為をいい、この実力支配関係が持続している限り、「所持」に当たる。したがって、外出中に自宅に保管している場合であっても、実力支配関係がなお持続していることになるので、「所持」が認められる。

8 ⑤ 放置違反金を滞納する使用者に対して、継続して自動車の使用を認めることは適当でないため、放置違反金の滞納により公安委員会による督促を受けた者は、滞納状態が解消されない限り、車検を受けることができない。

9 ① 「渋谷暴動事件」は、国鉄(当時)渋谷駅周辺で、沖縄返還協定の批准に反対する中核派の学生ら約400人が機動隊と衝突した事件である。

10 ③ 「言う」の尊敬語は「おっしゃる」であり、「申し上げる」は謙譲語である。

2017 / 12

懸賞SA問題

ふるって御応募ください!

1 次は、内閣に関する記述であるが、誤りはどれか。

- ① 内閣は、行政権の主体たる国家機関であり、合議体である。
- ② 内閣総理大臣以外の閣僚である国務大臣の数は、14人以内とするのが原則であるが、特別に必要がある場合においては、3人を限度にその数を増加し、17人以内とすることができる。
- ③ 内閣総理大臣は「首長」の地位に立つものとされているが、これは政治的美称であり、実質上は「同輩中の首席」として他の国務大臣と同列である。
- ④ 閣議は、内閣総理大臣がこれを主宰する。
- ⑤ 内閣総理大臣その他の国務大臣は、文民でなければならない。

2 次は、管轄区域外における職権行使に関する記述であるが、誤りはどれか。

- ① 警察官は、管轄区域内において職権行使をするのが原則である。
- ② 警察官は、管轄区域外においても職権行使をすることができる場合がある。
- ③ 警察官は、管轄区域内の公安の維持等に関連する限度（合理的な範囲内の限度）において、管轄区域外における職権行使が認められている。
- ④ A県の警察官は、A県で発生した事件の被疑者をB県において通常逮捕することができる。
- ⑤ A県の警察官は、B県で発生した事件の被疑者（A県に住居を有する。）をB県において通常逮捕することができない。

3 次は、電子計算機使用詐欺罪（刑法246条の2）に関する記述であるが、誤りはどれか。

- ① 「財産権の得喪、変更に係る電磁的記録」に当たるものとしては、オンライン化された銀行の元帳ファイルや磁気ディスク上の預金残高記録のほか、不動産登記ファイルなどがある。
- ② キャッシュカードやクレジットカードの磁気ストライプ部分は、一定の資格の証明のために用いられるにすぎないので、「財産権の得喪、変更に係る電磁的記録」には当たらない。
- ③ 「電子計算機」は、それ自体が自動的に情報処理を行う電子装置として一定の独立性を有し、財産権の得喪、変更に係る電磁的記録の作出を行い得るものに限られる。
- ④ 虚偽の情報又は不正な指令を与える態様としては、情を知らない第三者を利用してこれらを入力させる間接正犯的なものも含まれる。
- ⑤ 外見上本罪に当たる行為がなされても、事務処理の過程に人が介在し、この者を被欺罔者とする2項詐欺罪の成立が認められれば、本罪は成立しない。

4 次は、強制採尿に関する記述であるが、誤りはどれか。

-
- ① 尿を採取するに当たっては、まずは自然排尿を待ち、排出された尿を採取するのが原則である。
 - ② 自然排尿を求めるに当たっては、強制にわたらない限り、排尿を促したり説得したりすることも許される。
 - ③ 判例は、一定の条件の下、強制採尿を例外的に認めている。
 - ④ 強制採尿を実施するためには、鑑定処分許可状の発付を受ける必要がある。
 - ⑤ 強制採尿した尿の鑑定に当たっては、別途の鑑定処分許可状は不要である。

5 次は、警察広報に関する記述であるが、誤りはどれか。

- ① 警察広報の目的は、警察の施策や活動の状況を正しく伝えるとともに、警察に対する意見や要望を的確に把握して警察活動に反映させる点にある。
- ② アンケート調査は、広報活動には当たらない。
- ③ 警察が自らポスターを作成したり、広報紙（誌）を配布したりする広報活動の形態を、直接広報活動という。
- ④ 資料提供や記者会見等、報道機関を経由して行う広報活動の形態を、間接広報活動という。
- ⑤ 広報活動は、警察が「国民のための警察」として国民の理解や協力を確保する上で、重要な意義を有している。

6 次は、保護に関する記述であるが、誤りはどれか。

- ① 警職法3条1項1号による保護の対象である精神錯乱者及び泥酔者は、たとえ本人が保護を明確に拒んだとしても、強制的に保護することができる。
- ② 警職法3条1項2号による保護の対象である迷い子、病人、負傷者等は、たとえ本人が保護を明確に拒んだとしても、強制的に保護することができる。
- ③ 酩酊者規制法3条による保護の対象である酩酊者には、いわゆるほろ酔い程度の者は含まれない。
- ④ 精神保健福祉法39条による保護の対象である精神科病院無断退去者とは、精神科病院に入院中で自傷他害のおそれがあるにもかかわらず、精神科病院の管理者に無断で退去して行方不明になった者をいう。
- ⑤ 酩酊者規制法3条、及び精神保健福祉法39条による保護は、本人の意思にかかわらず、強制力を行使して行うことができる。

7 次は、緊急配備に関する記述であるが、誤りはどれか。

- ① 緊急配備とは、重要又は特異な事件の発生に際し、犯人の迅速な検挙と事後の捜査資料の収集を目的として、平常の勤務体制を一時的に変更し、多数の警察官を緊急に、かつ組織的に集中動員して行う初動活動をいう。
- ② 緊急配備は、検索、密行、張込み、自動車検問等の方法によって行う。
- ③ 広域緊急配備は、犯人が短時間のうちに都道府県の境界を越えて逃走する状況に対処するため、重要事件の発生を認知した都道府県警察が、他の都道府県警察に依頼して行う。
- ④ 配備中は、警戒方法や位置を絶対に変更してはならない。
- ⑤ 犯人は、逃走中に着替えたり、逃走に使っていた自動車等を乗り換えたりするので、職務質問に当たっては、手配事項のみにとらわれないよう注意する。

応募はがき（切手不要）で、どしどし御応募ください！

8 次は、誘拐又は誘拐の疑いのある事件認知時の初動措置要領に関する記述であるが、誤りはどれか。

- ① 誘拐事件か否かの判断は、客観的に明白なことが多いので、容易である。
- ② 交番等に直接口頭等で行方不明事案の届出があった場合には、通行人等から見えない場所で事情聴取を行うよう配意する。
- ③ ②の場合、速やかに捜査担当課長等の幹部へ電話報告し、指示を受ける。
- ④ 行方不明事案の届出があった時刻については、確認・記録しておく。
- ⑤ 行方不明事案の届出を受理した場合は、内容のいかんにかかわらず、自己のみの判断で事案の処理を判断すべきではない。

9 次は、国内で有効な運転免許証を列挙したものであるが、誤りはどれか。

- ① 都道府県公安委員会の交付する運転免許証
- ② 仮運転免許証
- ③ 合衆国が軍隊の構成員等に発給する運転免許証
- ④ 外国運転免許証
- ⑤ 国外運転免許証

10 次のうち、北方領土問題をめぐる北方四島に当たらないものはどれか。

- ① 歯舞群島
- ② 色丹島
- ③ 樺太（サハリン）
- ④ 国後島
- ⑤ 択捉島

応募規定

○応募締切は平成29年12月11日（当日消印有効）

○解答は巻末の懸賞SA問題応募はがき（切手不要）に必要事項を楷書で明記の上、お送りください（なお、本誌に対する御意見・御要望等を是非併せてお書きください。読者の皆様からの貴重なメッセージとして誌面に反映させてまいります。）。

○当選者の氏名及び解答は本誌平成30年2月号に発表。また、解答は12月15日に、弊社HP (<http://www.tachibanashobo.co.jp>) 上に発表します。

○1等 10,000円（1名）2等 5,000円（5名）3等 2,000円クオカード（20名）4等 500円クオカード（20名）

○応募者多数の場合は抽せんにより決定します。

○特別賞 72巻1号から12号までの成績優秀者の中から、抽選で1名の方に絵画（217頁掲載）を贈呈します（1点）。

御応募いただくことにより得た個人情報につきましては、懸賞当選者選定及び当選者への御連絡、賞金・賞品発送のために利用させていただきます。また、弊社刊行物等の御案内をさせていただくこともございます。